

もくじ



100年ぐらい前の市のようす



今の市のようす

②くらしのうつりかわり

2まいのしゃしんをくらべると、どんなところがちがうでしょうか。



むかしと今をくらべて

「これは、今から100年ぐらい前のわたしたちの市のようすです。今とむかしをくらべるとどんなところがちがうでしょうか。」と、先生がおっしゃいました。



「むかしとくらべて、自動車がたくさん走っているの、交通がべんりになったと思います。」



「むかしの家は、高さがひくいけど、今は高いたて物が、ふえました。」

2まいの写真を見て、くらしのようすがどのようにかわってきたか、しらべることになりました。

つぎのことにちゅういして、しゃしんをくらべてみましょう。

- ・ むかしも今もかわらないところがあるか。むかしと今で大きくかわったのはどこか。
 - ・ どんなかわり方をしているか。
 - ・ しゃしんを手がかりにして、そうぞうできることはあるか。
- そこで、なつみさんがおじいさんからきいたむかしのことを発表しました。

なつみさんのおじいさんの話



小さいころは人力車が走っていたのをおぼえているよ。車なんて本当にめずらしかったよ。せんそうのころは、若松にたくさんの兵たいがあつまっていたなあ。平和になって、おしろの天守かくがかんせいしたり、中央通りができたり、市のようにも、むかしとくらべるとずいぶんかわってきたよ。

市のように人やびとのくらしのようすは、どのようにうつりかわってきたのでしょうか。

しらべる計画

くらしのうつりかわりをしらべるには、いつごろのことをしらべたらよいでしょうか。

くらしのようすのうつりかわりをしらべるには、いつごろのことをしらべたらよいか、話し合いました。



「わたしは、若松駅ができたころのことをしらべてみたいわ。」



「せんそうがあったとき、くらしがずいぶんかわったと、ぼくのおばあさんが言っていました。」

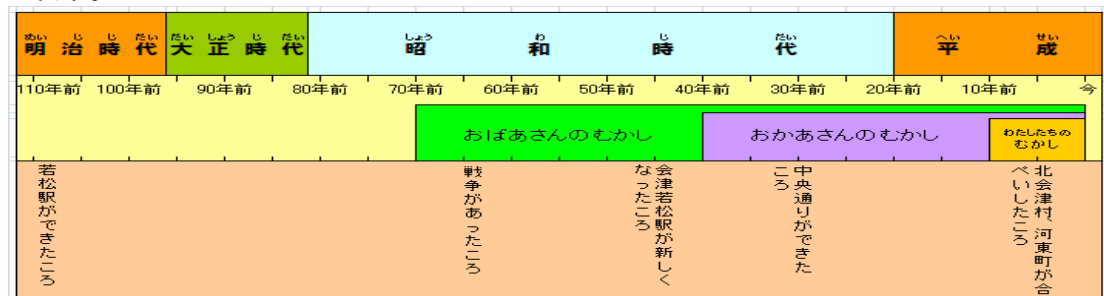


「会津若松駅があたりしくなったころもくらしがかわりましたよ。」

いつのことかわかったものから、年表にせいりして、どれくらい古いことかたしかめました。

年表をかんせいさせましょう。

- ・年表はいつも教室にはっておく。
- ・しらべてわかったことは、絵や文でカードにかき、年表にはっていく。
- ・絵のとくいな人、文をかくのがとくいな人など、それぞれの人がとくいなことをいかし合う。



年表を見ながら,しらべる計画を話し合っ
てまとめました。

しらべる計画

1.しらべること

- ・若松駅ができたころ
- ・せんそうがあつたころ
- ・会津若松駅があたらしくなつたころ
- ・中央通りができたころ

2.しらべかた

- ・古いしゃしんや新聞記事, しりょうになる本をさがす。
- ・家の人や近所の人に話を聞く。
- ・図書館やはくぶつ館に行ってしらべる。

むかしの駅



若松駅ができたころ(100年ぐらい前)

若松駅ができたころのくらしは,どんなようすだつたでしょうか。



「わたしたちの市に鉄道がしかれたのは,100年いじょうも前のことです。」

1 ぱんの人たちが図書館でしらべてきたことをもとに発表しました。

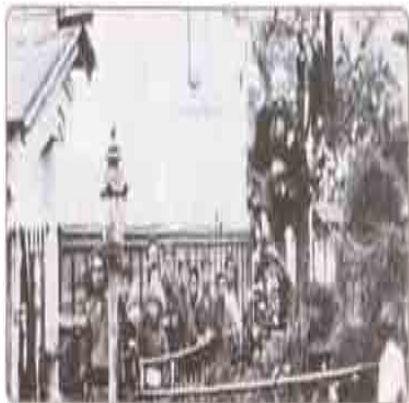


「そのころは,今のタクシーのかわりに,人力車というものがお客さんをのせていました。」



「屋根は,かわらでできており,人々が着ているのは,ほとんどが,着物です。また,はいているものは,くつではなく,ぞうり,げたのようなものが多かったようです。駅のようすも今とは,ずいぶんちがいます。」

ガスとうがついたころ



しゃしんを見て、気がついたことを、みんなで話し合いました



「このころ町の通りには、ガスとうがつくられました。上のしゃしんは、そのお祭りの日だそうです。」



「また、ふつうの家では、ランプをつけていましたが、電とうもつかわれるようになりました。電とうがついた家には、たくさんの見物人があつまったそうです。」

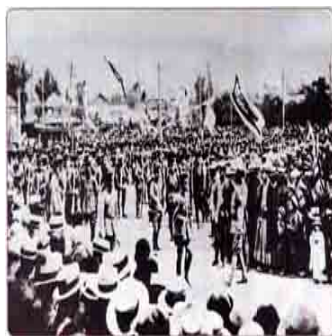


「町の通りは、ほそうされてなく、車のすがたも見られません。道路がとても広く見えます。着物すがたの子どもたちも、そこで、こままわしなどをしてあそんでいたそうです。」

通りのようす



そのころのようす



せんそうがあつたころ(60年ぐらい前)

せんそうがあつたころの市は、どんなようすだったでしょうか。



「わたしたちの市には、そのころ、第 29 れんたいというのがあって、兵たいさんがたくさんいたそうです。」

2 はんの人たちは、せんそうがあったころのことを発表しました。



「この兵たいさんたちは、とてもたかいがはげしいところに行って、多くの人
がなくなったそうです。」

そこで、ともみさんがおばあさんからきいたそのころのようすを発表しました。

今ものこっているれんたいの門



おじいさんやおばあさんに、せんそうがあったころのくらしのようすを聞いてみま
しょう。

今と、どなたとかがちがうか、話し合ってみましょう。

ともみさんのおばあさんの話



せんそうのころ、男の人は兵たいになってね、なくなってしまった人もたくさんいたよ。くうしゅうにそなえて、地面にあなをほって、ぼうくうごうをつくったり、バケツリレーなんかも近所の人ときょうりよくしてやったよ。なんといってもこまったのは、食べ物だったね。お米だけのまっ白いごはんなんて、食べられなかったよ。



「せんそうのころは、食べる物も着る物も今からくらべると、とてもひどかったんだわ。」



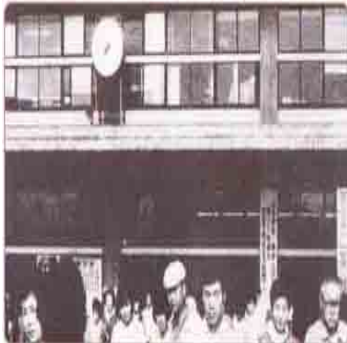
「せんそうでは、たくさんの人がなくなったり、けがをしたりしたそうです。」
みんなは、それぞれ、おじいさんやおばあさんから聞いてきた話を発表し合いました。そのあとまさおくんは、もっとくわしくしらべてみようとして図書館へ行きました。

子どものふくそう



会津若松駅があたりになったころ,市のようにすは,どのようにかわったでしょう。

あたりになった駅



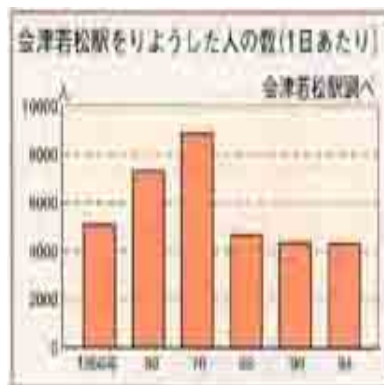
会津若松駅があたりになったころ(45年ぐらい前)



「駅があたりになる少し前,町北村さらに,湊,東山,一箕,高野,神指,門田,大戸村が市のなかまいをし,市の名前も若松市から会津若松市となったそうです。」

3ぱんの人たちが,今から45年ぐらい前のようすについて発表しました。

大きくなった市





「このころ、神明通りに、会津地方ではじめてのデパートができました。休みの日などは、買い物客でとてもにぎわったそうです。」

神明通り商店がいのおじさんの話



はじめてデパートができたころは、たくさんの方があつまってきたよ。会津若松市にすんでいる人はもちろん、まわりの町や村の人たちも、鉄道やバスでたくさんやってきたよ。



「また、このころ、長い間、石がきだけだつたところに、あたらしい天守かくができ、市の人たちは、とてもよろこんだそうです。」



「家ていには、テレビや電気せんたくきなどが入りはじめ、人びとの生活がずいぶんとかわってきました。」

はじめてできたデパート



つくっていると中の天守かく



中央通りができたころ、くらしは、どのようにかわってきたでしょうか。



中央通りができたころ(30年くらい前)「今から30年ほど前、神明通りの北がわに中央通りができました。これによって、駅前と神明通りがちよくせつむすばれました。」

4ぱんの人がしゃしんを見せながら、せつめいしました。



「このころには、文化ふくしセンターもつくられました。今でも、音楽会やお料理教室、作品発表会などいろいろなことにつかわれ、わたしたちの生活にやくだっています。」



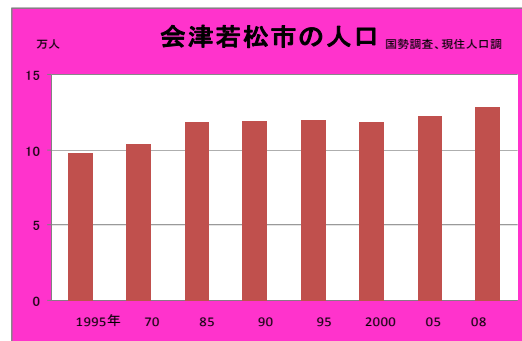
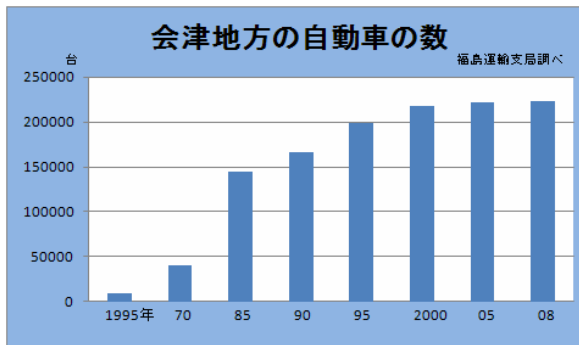
中央通り開通式



文化ふくしセンター



「次のグラフからわかることを、みんなで話し合ってみましょう。」
と、先生が、下のグラフを見せてくださいました。



30 数年前くらいから、市の人口が増え、自動車数も増えて、生活がべんりになりました。

おうちの人に、このころのようすをきいてみましょう。

はるかさんのお母さんの話



スーパーマーケットができ、買い物がとてもべんりになりました。
また、どこの家ていにも、れいぞうこやせんたくきなどの電気せい品
が入るようになり、くらしがゆたかになってきました。

発表をきいたあとで、みんなは、人びとのくらしが、どうかわってきたのか
について話し合いました。